



小中一貫教育特集

平成31年度 小中一貫教育を全中学校区で展開

～子どもたちの生きる力を育む～

☎ 教育委員会指導課 ☎7185-1367

平成26年度から、布佐中学校区をモデルとし、市独自の小中一貫カリキュラムの開発など準備を進めてきました。その他の中学校区では、目指す子ども像に向けて、小中学校9年間をつなぐ市独自の8つのカリキュラムを段階的に組み込み実施してきました。平成31年度からすべての中学校区で、このカリキュラムでつなぐ小中一貫教育を展開します。

目指す子ども像

- 郷土愛……「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 学 び……確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- こころ……自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



「Abi☆小中一貫カリキュラム」の8つのカリキュラム

- ふるさと学習 ●キャリア教育 ●道徳 ●English ●ICT教育 ●特別支援教育 ●国語 ●算数・数学

小中学校の交流を通して～小中学校を滑らかにつなぐ～

小学校から中学校への学びや新しい学校生活へ滑らかにつなぐため、部活動や学校行事などを通して、中学生と小学生と一緒に活動する機会を設けています。

「小中一貫の日」では、小中学生と一緒に活動したり、複数の小学校の児童が1つの教室で学んだりして、交流を深めています。先生たちにとっても、お互いの授業や子どもたちへの対応の様子、学びや学校生活でのつながりを実際に知る良い機会になっています。

中学校入学前の子どもたちが抱えている不安の一つに新しい学校生活での人間関係があります。進学前に他校の同学年の児童と交流を図ることによって、不安を軽減し、より豊かな人間関係づくりへとつなげています。



小・中学生と一緒に英語を学ぶ

◎布佐中学校区では、小学6年生が中学校へ登校し、小学生同士や中学生と一緒に活動する「布佐中登校」に取り組んでいます。

◎湖北台中学校区では、2つの小学校が、合同でキャリア教育を実施し、交流を深めています。



「夢のとびらプロジェクト(プロフェッショナルに聴く会)」湖北台西小と湖北台東小の6年生児童



小中一貫教育研修会(湖北地区公民館)



各中学校区での研修会

小中学校教職員をつなぐ

～より充実した小中一貫教育へ～

先生たちもチームとして指導力を向上させながら日々の教育活動にあたっています。各中学校区で行われる小中学校合同研修会や教育ミニ集会などを通して小中学校の先生が交流することで、中学校区で育てる子どもたちへの理解を深め、共通の目標をかかげて、より充実した小中一貫教育を目指しています。

- 情報化社会の中で必要となる
- 豊かなコミュニケーション力と
- 豊かな心を育む

平成26年から段階的に各中学校区にタブレット端末を40台(1校10～14台)配置、またICT環境の効果的な活用をサポートするICT教育支援員を配置し授業を行っています。授業では、動画やメール、SNSなどの使い方を通して、ルールやマナー、個人情報を守ることを学びます。また、相手を思いやるコミュニケーションのあり方、ネットショッピングの注意点や犯罪被害にあわない方策など、危機管理などについても学んでいます。



タブレットを使用した授業

- 英語を自分の言葉として
- 表現しようとする子どもへ

外国の文化や言葉を知り、自国の文化の理解を深め、世界とつながる人材を育てるために、英語を自分の言葉として自ら発信し表現しようとする子どもを育てるカリキュラムを展開します。

小学校低学年(1・2年生)は歌やゲームなどを楽しみながら英語や外国文化に触れる活動、小学校中学年から(3年生以上)は、毎週英語を使った活動や学習が行われています。「身近な英語を聞く」、「相手に伝える」、「自分の思いや考えを表現する」など、さまざまな体験を通して学びを深めます。小学校での学習経験を生かして、中学校の英語学習へスムーズに移行し、英語を自分の言葉として表現しようとする子どもの育成に取り組んでいます。



外国人講師から学ぶ